

グレコポータブルジュニアを正しくお使いいただくために、 お車の座席を必ずご確認ください。

グレコポータブルジュニアは3点式シートベルトのみ取り付けできます。

取り付けできない座席

- ①車両側のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとチャイルドシートが接触しない座席（図1）

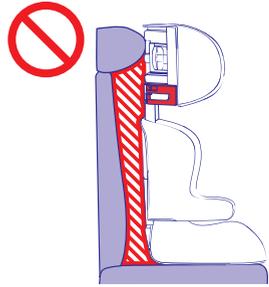


図1

- ②極端に奥行きが40cm未満の座席。
（補助席や幼児専用座席）（図2）



図2

- ③座面のフラット面が33cm未満で正しく取り付けができない座席。（図3）



図3

- ④極端なバケットシート（図4）
例：座面の落ち込みが15cm以上みられる座席

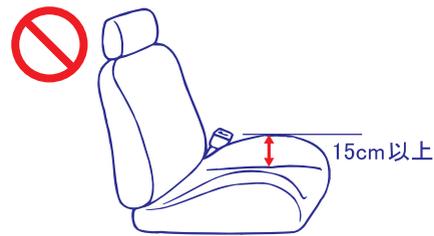


図4

- ⑤スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両の座席（図5）



図5

- ⑥座席の背もたれと座面との角度が115度以上あり、チャイルドシートがぐらつく座席（図6）

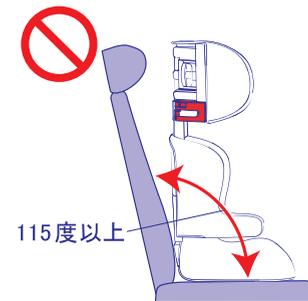


図6

- ⑦進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。
⑧ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。
⑨チャイルドシートが車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。

シートベルトの条件

- ・本装置は、ECE 規則 No.16 または他の同等の基準に基づいて認可された自動車 3 点式 / リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。シートベルトの種類についてはお車の取扱説明書をご確認ください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点	
3点式シートベルト	ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR / ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

取り付けできない座席

- ・ 2 点式シートベルトの座席 (図1)



図1

- ・ シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席 (図2)



図2

- ・ パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装備される座席) (図3)



図3

- ・ 市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。(図4)



図4

- ・ バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつバックルが長い (15cm 以上の) 座席。(一部の RV 車) (図5)

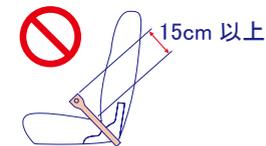


図5

- ・ バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、タイヤアーチ上部から取り出される (図6)



図6

- ・ バックル及び腰シートベルトが背もたれから 10cm 以上前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。(図7)



図7

- ・ シートベルトの取り付け幅が 33cm 未満でバックルを踏みつける座席。(図8)



図8

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2 列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。
フロントエアバックが作動した際に、お子さまが強い衝撃を受ける恐れがあります。

〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

- ・ 座席をいちばん後ろまで移動 (スライド) させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・ サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席では使用できません。
- ・ 車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。